

J 2023 JJA JEWELLERY DESIGN AWARDS

JJAジュエリー
デザインアワード

応募要項

日本の
ジュエリーの
可能性を求めて

日本のジュエリーの発展とクリエイターの才能を国内外へ発信することを目的として作品を広く募集します。

グランプリ・準グランプリ
受賞作品は

VOGUE JAPAN

誌面タイアップ記事
WEBサイトに掲載

JJAジュエリーデザインアワードは、日本のジュエリー業界における最も権威あるコンペティションとして、グランプリ・内閣総理大臣賞受賞作品を筆頭に、デザイナー・クラフトマンの才能を国内外へと発信していく場です。日本には美しい文化と伝統を背景に、高い技術力とデザイン力を誇る数多くのクリエイターが存在します。未来のジュエリー業界を牽引する、新しい可能性を持つクリエイターの芸術性・ファッション性の高い優れた作品を広く募集します。

応募受付日

- 送付の場合:2023年5月23日(火)到着 **必ず日付指定でご発送ください**
- 持参の場合:2023年5月24日(水)午前10時~午後3時まで

一般社団法人
日本ジュエリー協会



2023応募要項他



2021年勲章



過去の作品集

部門と規定

第1部門「プロフェッショナル部門」

テーマ A: ハイエンド・ラグジュアリー

- 1作品が想定上代金額150万円を超えるもの。

テーマ B: アクセシブル・ラグジュアリー(上質な日常使い)

- 1作品が想定上代金額150万円以下のもの。

【テーマ A・B共通規定】

- 天然石および真珠等の宝石、貴金属(銀を除く)を用いた単品もしくはセット。
- 合成石・人造石・模造石等は使用不可。

大きさ・豪華さにとらわれず
応募してみませんか？

第2部門「新人部門」

- 応募時点で学生・社会人問わずデザイナーおよび製作者ともに装身具のデザインまたは製作に従事して(在学期間を除く)5年未満の個人(個人名での応募となります)で、ジュエリーデザインアワード2021までのプロフェッショナル部門およびテーマ部門の未受賞者。
- 2021年度・2022年度に卒業した方は、現在社会人などでも卒業制作の応募が可能。(個人名での応募となります)
- 貴金属・金属(ステンレススチールやチタニウム等も可)・宝石および真珠等(合成石も可)を主に使用した単品もしくはセット。

【両部門共通規定】

- 日本国内で製作されたものに限りです。
- 展示・保管・移動および使用に対して構造や強度に問題がないもの、破損していないものに限りです。
- 貴金属素材には必ず使用した全ての品位の刻印が必要です。
- 地色と異色のめっきを行った場合はめっきの打刻も必要です。(例:シルバーに金めっき→刻印「SILVER925 GP」など)
- メーカー刻印および個人が判別できる刻印の使用は不可です。
- 使用した宝石について鑑別を取っていただく場合があります。
- 使用素材および技法等について不明な場合は事務局までお問い合わせください。
- ジュエリーの実作品での募集です。
- 「1作品」:単品もしくは1セット。
- 「単品」:イヤリング等の左右はペアで1点と数え、単品です。複数のパーツの着脱ができるものは全てで1点と数え、単品です。
- 「1セット」:コンセプトを統一したアイテム2点以上のもの。1セットのアイテム数の上限は5点です。
- 「アイテム」:イヤリング・ネックレス・ブローチなど。

規定に反するものは審査対象外となります

審査基準

第1部門「プロフェッショナル部門」

デザイン・技術・品質を兼ね備え、創造性豊かな芸術性・ファッション性の高いジュエリーであるか

第2部門「新人部門」

新人らしいフレッシュな感性より創造された芸術性・ファッション性の高いジュエリーであるか

【両部門共通】

- 着想:ユニークなコンセプトを持ち豊かな独創性ある世界観を表現できているか
- デザイン:着想の表現として、細部の構造にも配慮し、斬新性・立体性・コーディネートし易さなどに優れているか
- 技術:素材の魅力や特性、デザインの意図を十分に表現し、細部に至るまで装着性を満たす高度な製作技術であるか

【必須】今まで発表されたコンテスト作品および商品とは類似しない完全なるオリジナルデザインで未発表であること

審査員 (予定) (敬称略)

【審査員長】

飯野 一郎 東京藝術大学 名誉教授 / 山梨県立宝石美術専門学校 校長

【ゲスト審査員】

VOGUE JAPAN編集部

【審査員】

柴田 文江	プロダクトデザイナー
細尾 真孝	株式会社細尾 代表取締役社長
坂元 亞郎	全日本貴金属技能士会連合会会長 卓越した技能者 (現代の名工)
土屋 昌明	ジュエリークラフトマン 卓越した技能者 (現代の名工)
柏倉 主和	公益社団法人日本ジュエリーデザイナー協会会長
小寺 智子	ジュエリーデザイナー

賞 (予定)

第1部門より

●グランプリ・内閣総理大臣賞	1作品	副賞 100万円 (総合的に最も優れた作品)
●準グランプリ・経済産業大臣賞	1作品	副賞 50万円 (芸術性・ファッション性が高く最もデザインの卓越した作品)
●準グランプリ・厚生労働大臣賞	1作品	副賞 50万円 (芸術性・ファッション性が高く最も技術の卓越した作品)
●東京都知事賞	1作品	副賞 10万円
●山梨県知事賞	1作品	副賞 10万円
●台東区長賞	1作品	副賞 10万円
●日本商工会議所会頭賞	1作品	副賞 10万円

(上位3賞に準ずる作品)

第2部門より

●新人大賞	1作品	副賞 20万円 (第2部門で最も優れた作品)
●新人優秀賞	3作品	副賞 5万円 (新人大賞に準ずる優れた作品)
●入選	5~10作品程度	副賞 1万円 (第2部門で優れた作品)

特別賞 (両部門対象・重複受賞の可能性あります)

●ジュエリー議員連盟賞	1作品
●ゲスト審査員賞	1作品 副賞 5万円
●日本ジュエリーデザイナー協会会長賞	1作品 副賞 5万円
●日本真珠振興会会長賞	1作品 副賞 5万円 (作品の中に必ずアコヤ真珠を使用していること)
●プラチナ・ギルド・インターナショナル賞	1作品 副賞 5万円 (主にPt850以上を使用した作品から選出)

※入賞数も含め、変更の可能性あります。

**グランプリ・準グランプリ受賞作品は「VOGUE JAPAN」
誌面タイアップ記事(見開き2ページ)・Webサイトに掲載いたします**

応募資格

- 両部門とも応募者(社)・デザイナー(社)・製作者(社)ともに国内在住であり、このコンテストに賛同し、かつ規定を順守できること。
- JJAWebサイトの審査結果公表以前に公開・展示・出版物やパンフレット等への掲載、他の公募展・過去のジュエリーデザインアワードに応募していないデザイン画および作品。
- 第1部門の各賞および新人大賞と特別賞を受賞した場合、JJF2023にて行う表彰式にデザイナーもしくは代表者が参列できること。

応募方法

- 実作品を送付または持参にて受け付けます。
- 1作品につき「応募用紙」(別紙)1枚と「コンセプトシート」(別紙)1枚を一緒に応募受付日にご提出ください。
- 複数応募の場合など、応募用紙とコンセプトシートをコピーする際や、PDFからプリントアウトする場合は、原本と同じサイズ(A4)で出力してください。
- ※ 真珠を使用した場合、応募用紙の「主要石」・「補助石」欄に真珠の種類を明記してください。 → 応募用紙ウラ面 記入例: アイテム③参照

作品受付

- 「作品・応募用紙・コンセプトシート」以外の資料および展示用備品等は受け付けません。
- 作品送付の際に、作品の収納に使用されたケース・緩衝材・タグ等は、原則廃棄処分しますのでご注意ください。
- お預かり証等への押印が必要な場合には、お手数でも作品をご持参ください。
- 作品送付の際の紛失・破損は、主催者では一切の責任を負いません。
- 受付場所 日本ジュエリー協会(右下部地図参照)

応募料

- 第1部門 1作品(応募用紙1枚)につき10,000円
- 第2部門 1作品(応募用紙1枚)につき3,000円

○ 応募料は、作品提出時までに下記口座に振込み、振込控えのコピーを応募用紙ウラ面に貼付してください。なお、複数応募で一括振込みの場合は、代表の応募用紙ウラ面に振込控えを貼り付け、一括の内訳として応募数・各応募者名・応募部門をご記入ください。代表以外の応募用紙には、貼り付け欄に「別納」とご記入ください。

○ 振込依頼人に、氏名(社名)の後に「AW」と「応募部門」を入れてください。

例) 振込依頼人: ヤマダジュエリー AW2

※ 現金でのお支払いは一切受け付けておりません。

※ 領収証の発行はいたしません。

※ 振り込まれた応募料の返金、および次回アワードへの振り替えは理由の如何にかかわらずできません。

※ 振込手数料・作品の送料は応募者にてご負担ください。

振込先: **みずほ銀行 稲荷町支店**
普通預金 1279914
一般社団法人日本ジュエリー協会

応募数の制限

- なし(応募料は応募作品数分必要です)

審査結果通知

- 文書にて応募用紙記載の応募者宛に送付

審査結果公表

- 2023年8月1日(火)
第1部門の各賞および新人大賞と特別賞受賞作品は、プレスリリースおよびJJAWebサイトにて公表します。
- ※ JJAの公表後、表彰式の前までにWebサイト・SNS等に公開する際は「(受賞予定)」と表記してください。

表彰式・作品展示・掲載(予定)

- 表彰式: ジャパンジュエリーフェア2023(JJF2023)会期中会場内にて表彰
- 表彰対象: 第1部門の各賞および新人大賞と特別賞受賞者
- 展示①: JJF2023会期中会場内にて全入賞作品を展示
- 展示②: JJF2023終了以降
山梨ジュエリーミュージアムにて全入賞作品を展示
- 掲載: グランプリ・準グランプリ受賞作品は「VOGUE JAPAN」誌面・タイアップ記事(2023年10月号 予定)・Webサイトに掲載

作品の管理

- 作品は受付後から返却まで主催者にて厳重に管理します。
- 万一に備え、作品には動産保険を付保します。応募用紙の「保険対象金額」を必ずご記入ください。「保険対象金額」=「材料費+工賃」の範囲とします。なお、申請の金額が主催者の評価と著しく異なった場合は、ご相談する場合があります。万一の破損・盗難・火災等事故発生の場合、補償は申告金額内となります。但し、最高補てん限度額は1作品200万円です。限度額を超える場合は、応募者にて追加保険加入等の対応をお願いします。

著作権および作品集

- 応募作品のデザインに係る著作権は応募者またはデザイナーに帰属します。
- 入賞作品は写真撮影を行います。この写真の著作権は、(一社)日本ジュエリー協会に帰属し、作品集・Webサイト・その他作品を紹介するために使用します。リリース後、申請があれば画像提供いたします。
- 審査会・表彰式を撮影し動画を制作する可能性があります。その場合、応募作品、表彰式の受賞者と関係者が映ります。
- 作品集は応募者一人につき一冊を送付進呈いたします。

作品の返却・トロフィーのお渡し

- 入賞外の作品は、6月29日(木)に作品受付と同じ会場にて返却します。
- 入賞作品は、山梨ジュエリーミュージアムでの展示終了後作品受付と同じ会場にて返却します。日程は別途お知らせいたします。
- 返却方法として、送付希望の場合や受け取りに来られない場合は、保険(応募者負担)を付けた上で、送料着払いで個別に返送します。
- 作品の管理上、返却期日前の個別返却はいたしません。
- 受賞トロフィーは作品返却時にお渡しします。

その他

- 応募用紙のコピーを控えとして保管してください。
- 応募用紙の記入事項は、入賞した場合の作品集等への掲載にそのまま反映されます。提出後の変更は出来ません。
- 素材・宝石・アイテム等について、提出いただいた応募用紙と作品集等の表記を変える場合があります。
- 応募作品が下記に該当した場合、審査対象から除外します。また、審査結果発表後でも入賞作品が下記に該当する事が発覚または発生した場合、入賞を取り消す場合があります。

- ・ 応募要項に反するもの
- ・ 既に発表されたデザインと同一あるいは類似、著作権等の侵害の恐れがあるもの
- ・ 作品展示予定会場での展示が不可能となった場合

- 応募用紙にご記入の個人情報は、個人情報保護法に従って適正に取り扱います。

- ・ 本アワードおよびジャパンジュエリーフェア(JJF)運営の為に利用します。
- ・ 入賞した場合の作品集・Webサイト・その他作品を紹介する為に使用します。
- ・ JJF共催のインフォーマー・マーケット・ジャパン(株)との共有、後援・協賛団体への報告等以外に応募者の同意なしに第三者に提供することはありません。
- ・ お問い合わせはジュエリーデザインアワード事務局までお願いいたします。

- 副賞賞金は応募者指定の口座に振込みます。分配等は応募者の責任で行ってください。
- 賞金には源泉徴収がなされる場合があります。
- 本応募要項の記載内容に変更が生じた場合はご了承ください。

主催および作品受付・返却場所

一般社団法人日本ジュエリー協会 ジュエリーデザインアワード事務局
〒110-8626 東京都台東区東上野2-23-25
TEL:03-3835-8567 FAX:03-3839-6599
e-mail:ja@jja.ne.jp URL:https://jja.ne.jp
※ お問い合わせ・資料請求もこちらへお願いいたします。



後援・協賛(予定)

【後援】 経済産業省/厚生労働省/東京都/山梨県/台東区

日本貿易振興機構(ジェトロ)/日本商工会議所/読売新聞社

【協賛】 公益社団法人日本ジュエリーデザイナー協会/一般社団法人日本真珠振興会
プラチナ・ギルド・インターナショナル株式会社



応募用紙

ウラ面の記入例をご参照ください。

- 1作品(単品もしくは1セット)につき応募用紙1枚とコンセプトシート(別紙)1枚を一緒に提出してください。
- 「作品・応募用紙・コンセプトシート」以外の資料および備品等は受け付けません。
- 複数応募の場合など、応募用紙とコンセプトシートをコピーする際や、PDFからプリントアウトする場合は、原本と同じサイズ(A4)で出力してください。
- 太枠内をご記入ください。□には✓を入れてください。単品/セットはいずれかを○で囲んでください。
- 記入事項は応募用紙のオモテ面に書き取ってください。
- ウラ面に応募料振込控えを貼り付けてください。
- 応募用紙の記入事項は、入賞した場合の作品集等への掲載にそのまま反映されます。提出後の変更は出来ません。
- 素材・宝石・アイテムなどについて、提出いただいた応募用紙と作品集等の表記を変える場合があります。

応募部門 ・ 作品形態	第1部門(プロフェッショナル部門)		□ 第2部門(新人部門)	
	<input type="checkbox"/> テーマA:ハイエンド・ラグジュアリー 想定上代金額 150万円を超えるもの <input type="checkbox"/> テーマB:アクセシブル・ラグジュアリー(上質な日常使い) 想定上代金額 150万円以下のもの 単品 / セット アイテム数(点)		単品 / セット アイテム数(点)	
応募者区分	<input type="checkbox"/> 一般過去応募者 <input type="checkbox"/> 一般新規応募者 <input type="checkbox"/> JJA会員 <input type="checkbox"/> 学生 [学校名]			
返却方法	<input type="checkbox"/> 引き取り <input type="checkbox"/> 宅配(着払)			
応募者	フリガナ 担当者氏名	フリガナ 企業名	部署	
	住所 〒			
	TEL	FAX	作品集等への e-mail 掲載を <input type="checkbox"/> 希望する <input type="checkbox"/> 希望しない e-mail	
デザイナー	フリガナ(姓)	フリガナ(名)		
製作者	フリガナ(姓)	フリガナ(名)		
アイテム ①	アイテム	保険対象金額	円	作品の写真・略図など ●その作品として正しい向き(上下・左右・表裏)に配置した写真・略図などを添付してください。 ●アイテムごとに、①～⑤のアイテム番号を明記してください。 ●アイテムごとに刻印箇所を記入してください。 ※貴金属素材には必ず使用した全ての品位の刻印が必要です。刻印がないものは審査対象外となります。 ※地色と異色のめっきを行った場合はめっきの打刻も必要です。 ※メーカー刻印及び個人が判別できる刻印の使用は不可です。刻印があるものは審査対象外となります。
	素材・品位	地金	g	
	主要石		ct	
	補助石		ct	
アイテム ②	アイテム	保険対象金額	円	
	素材・品位	地金	g	
	主要石		ct	
	補助石		ct	
アイテム ③	アイテム	保険対象金額	円	
	素材・品位	地金	g	
	主要石		ct	
	補助石		ct	
アイテム ④	アイテム	保険対象金額	円	
	素材・品位	地金	g	
	主要石		ct	
	補助石		ct	
アイテム ⑤	アイテム	保険対象金額	円	
	素材・品位	地金	g	
	主要石		ct	
	補助石		ct	
作品名	フリガナ	<input type="checkbox"/> 応募要項記載の規定内の作品です。 2023年 月 日 <input type="checkbox"/> 応募要項を全て読み、記載内容に同意します。 署名		
受付番号	23	搬入方法	持ち込み / 宅配	備考

応募料振込控え貼付欄

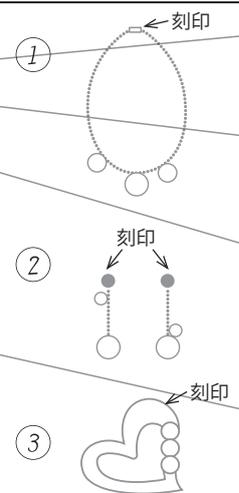
記入例



応募用紙

●1作品(単品もしくは1セット)につき応募用紙1枚とコンセプトシート(別紙)1枚と一緒に提出してください。
 ●「作品・応募用紙・コンセプトシート」以外の資料および備品等は受け付けません。
 ●複数応募の場合など、応募用紙とコンセプトシートをコピーする際や、PDFからプリントアウトする場合は、原本と同じサイズ(A4)で出力してください。
 ●太枠内をご記入ください。□には✓を入れてください。単品/セットはいずれかを○で囲んでください。
 ●記入事項は応募用紙のオモテ面に書き取ってください。
 ●ウラ面に応募料振込控えを貼り付けてください。
 ●応募用紙の記入事項は、入賞した場合の作品集等への掲載にそのまま反映されます。提出後の変更は出来ません。
 ●素材・宝石・アイテムなどについて、提出いただいた応募用紙と作品集等の表記を変える場合があります。

ウラ面の記入例をご参照ください。

応募部門 ・ 作品形態	第1部門 (プロフェッショナル部門) <input type="checkbox"/> テーマA: ハイエンド・ラグジュアリー 想定上代金額 150万円を超えるもの <input checked="" type="checkbox"/> テーマB: アクセシブル・ラグジュアリー(上質な日常使い) 想定上代金額 150万円以下のもの 単品 / ○セット アイテム数(3 点)	<input type="checkbox"/> 第2部門 (新人部門) 単品 / セット アイテム数(点)
	応募者区分 <input checked="" type="checkbox"/> 一般過去応募者 <input type="checkbox"/> 一般新規応募者 <input type="checkbox"/> JJA会員 <input type="checkbox"/> 学生 [学校名]	
返却方法	<input type="checkbox"/> 引き取り <input checked="" type="checkbox"/> 宅配(着払)	
応募者	フリガナ 担当氏名 ヤマダ 寿恵李 フリガナ 企業名 株式会社 JJA 部署 デザイン課	
	住所 〒 110-8626 東京都台東区東上野 2-23-25	
	TEL 03-3835-8567 FAX 03-3839-6599 作品集等へのe-mail掲載を <input type="checkbox"/> 希望する <input checked="" type="checkbox"/> 希望しない e-mail ja@jja.ne.jp	
デザイナー	フリガナ(姓) ヤマダ フリガナ(名) 寿恵李	
製作者	フリガナ(姓) ヤマダ フリガナ(名) 寿恵李	
アイテム	アイテム ① ネックレス 保険対象金額 ○○,○○○円 素材・品位 Pt900、K18WG 地金 8g 主要石 ダイヤモンド 1.8ct 補助石 サファイア、トルマリン 1.6ct	
	アイテム ② ピアス 保険対象金額 ○○,○○○円 素材・品位 Pt900、K18WG 地金 4g 主要石 ダイヤモンド 1.6ct 補助石 サファイア 0.5ct	
	アイテム ③ ブローチ 保険対象金額 ○○,○○○円 素材・品位 K18 地金 10g 主要石 アコヤ真珠 ct 補助石 ct	
	アイテム ④ 保険対象金額 円 素材・品位 地金 g 主要石 ct 補助石 ct	
	アイテム ⑤ 保険対象金額 円 素材・品位 地金 g 主要石 ct 補助石 ct	
作品名	フリガナ ダイヤモンド アンド ドリーム Diamond & 夢	
受付番号	23	搬入方法 持ち込み / 宅配 備考

e-mail アドレス掲載について
 入賞した場合の作品集等へのe-mail アドレス掲載について、希望する・希望しないのいずれかに✓をご記入ください。
 希望しない場合でも連絡用としてe-mail アドレスをご記入ください。

アイテム
 「リング」「ネックレス」等を記入します。
 右側の「作品の写真または略図」と同じアイテム番号の欄にご記入ください。

保険対象金額
 保険対象金額を必ず記入してください。【材料費+工賃】の範囲とします。

素材・品位
 複数の場合は、主たる素材順に全て記入します。貴金属は下記の様に記入します。
 例) 金 → K18 など
 プラチナ → Pt900 など
 銀 → SV925 など

地金重量/主要石重量/補助石重量
 記入は任意です。

主要石
 主たる宝石(中石)名を全て記入します。

補助石
 従たる宝石(脇石)名を全て記入します。

※真珠を使用した場合
 真珠の種類を記入してください。
 例) アコヤ真珠、シロチョウ真珠、クロチョウ真珠、淡水真珠、模造真珠(イミテーション)など

作品名
 作品のタイトルとフリガナをご記入ください。

コンセプトシート

- この面のみにご記入ください。
- ウラ面の記入例をご参照ください。

受付番号 23	フリガナ 作品名
コンセプト <p>●デザインの基となった物・イメージなどをイラストや写真などのビジュアルに文章を添えて表してください。</p>	
作品を装着している写真または画像	
<ul style="list-style-type: none">●その作品として正しい向き（上下・左右・表裏）・体に対して正しい位置に装着した写真または画像を添付してください。●リングはどの指に着けるか、ブローチはどの位置に留めるかなどが分かる写真または画像を添付してください。●アイテムが複数ある場合、1枚に全てのアイテムが写っているものでもアイテムごとでも構いません。	

記入例

コンセプトシート

- この面のみにご記入ください。
- ウラ面の記入例をご参照ください。

受付番号 23

フリガナ ダイヤモンド アンド ドリーム
作品名 Diamond & 夢

コンセプト



旅の思い出をジュエリーに込めてデザインしました。
南の島の海をダイヤモンドのきらめきで表現しました。
砂浜に描いたハートをブローチにし、夢のようなひと時を形にしました。
服に着けた時に重みでブローチが前に傾かないよう、ピンの位置を考慮しました。

作品を装着している写真または画像

